

第5回在宅医療及び医療・ 介護連携に関するWG	資料
平成30年6月27日	2-4

大津市における在宅医療の充実に 向けた取り組みについて

大津市保健所 所長 中村 由紀子

平成30年6月27日 在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ

本日の目次

- I 大津市の概要
- II 在宅療養支援体制の全体像
 - 1. 在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況
 - 2. 取り組みの視点と主な事業
 - 3. 在宅医療推進のための主な事業スケジュール
 - 4. 在宅医療体制強化に向けた今後の課題

I 大津市の概要

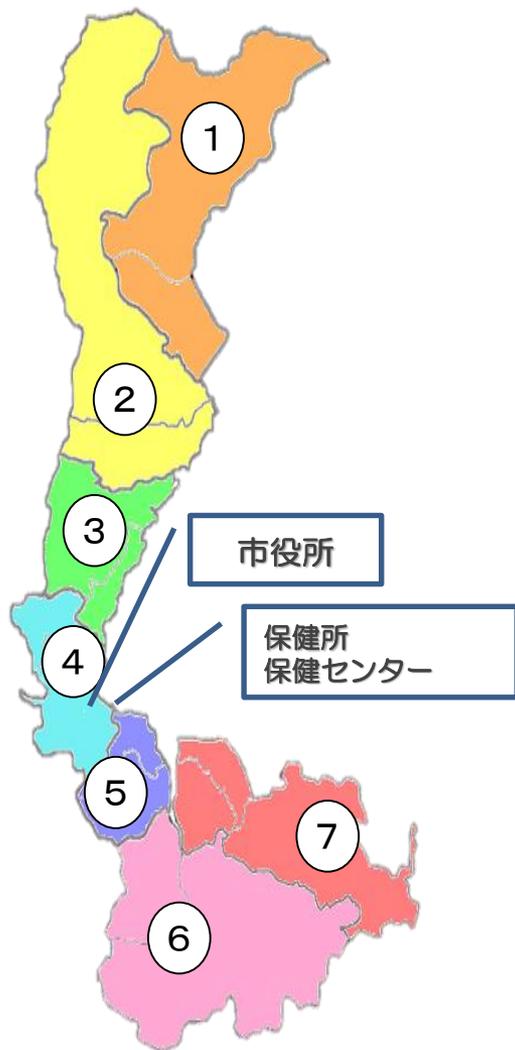
(1) 地勢や人口など



人口 342,365 人
 世帯数 146,305 世帯
 1 世帯あたり人員 2.38 人
 行政区域 (小学校区) 37 学区
 面積 464.51 平方km
 東西 20.6km 南北 45.6km
 (H30.2.1 現在)

(2)7つの保健福祉ブロック体制

(上段:人数(人) 下段:割合(%))



NO	ブロック	人口	0~14歳	65歳以上	(再)75歳~	学区数
	市全体	384,038	47,579	88,561	42,021	37
①	和邇	25,519	2,460 9.6	7,184 28.2	3,402 13.3	4
②	堅田	54,817	6,500 11.9	12,418 22.7	5,485 10.0	8
③	比叡	53,183	6,642 12.5	12,663 23.8	6,125 11.5	5
④	中	58,025	6,432 11.1	14,354 24.7	7,224 12.4	6
⑤	膳所	69,185	8,426 12.2	15,742 22.8	7,901 11.4	4
⑥	南	40,343	4,262 10.6	10,760 26.7	4,862 12.1	4
⑦	瀬田	82,966	12,789 15.4	15,291 18.4	6,951 8.4	6

(平成30年4月1日現在)

(3)大津市の組織体制

健康保険部

介護保険課

保険年金課

長寿政策課

長寿政策係
地域包括ケア推進室
 高齢福祉係
 (地域包括支援センター所管)

担当者兼務
 ※強み
 地域包括・すこやか相談所での業務経験のある保健師であること

保健所

健康推進課

- 健康支援係
- 成人検診係
- 乳幼児健診係
- 母子保健係
- 管理係

保健総務課

企画総務係
 医事薬事係
地域医療戦略室
 在宅医療・介護連携担当
 (在宅医療連携拠点整備)
 保健医療計画・地域医療構想

保健予防課

精神・難病係
 感染症対策係
 管理係

衛生課

食の安全推進係
 食品指導係
 生活衛生係

あんしん長寿相談所
 (地域包括支援センター)
 (直営7か所・委託2か所)

すこやか相談所
 (直営7か所)

同施設の
 同フロア

- **所長:保健師(市職員)**
- **保健師** (包括兼務・市職員)
- **ヘルスアドバイザー** (市臨時看護職員)
- 助産師 (3か所に嘱託で配置)

- 【直営7か所】
- **保健師・看護師** (包括専任・市職員)
 - 主任介護支援専門員
 - 社会福祉士
 - 介護支援専門員 (市嘱託)

地域における
 医療介護連携の拠点
 (直営7か所)
 ※委託包括は管轄の直営
 包括とともに活動

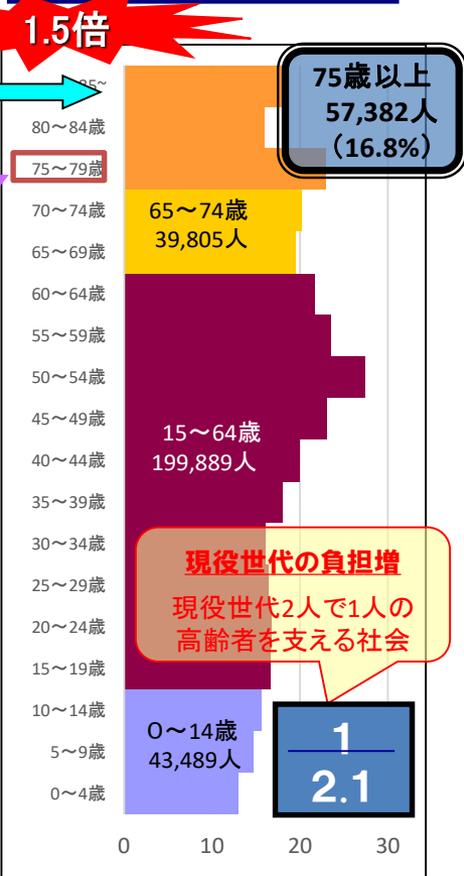
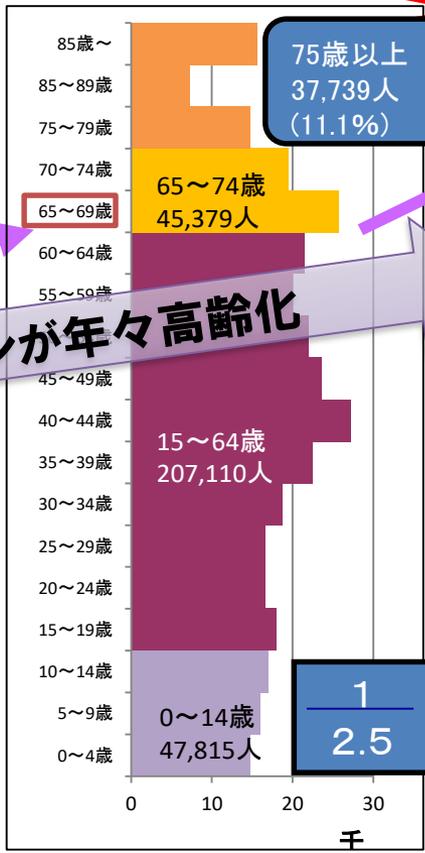
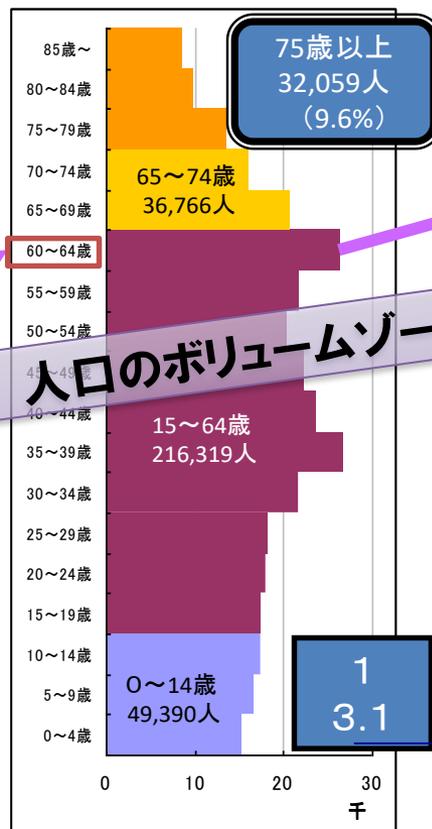
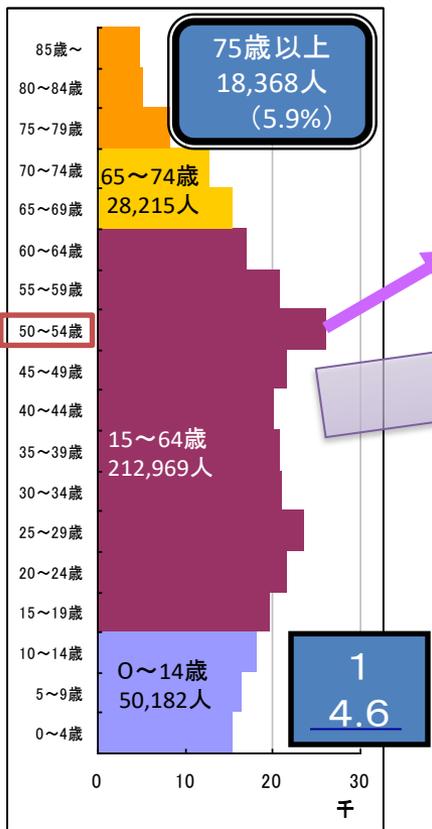
(4)人口推移

平成12年
(2000年)

平成22年
(2010年)

平成27年
(2015年)

平成37年
(2025年)



人口のボリュームゾーンが年々高齢化

人口: 309,793人

人口: 337,634人

人口: 340,973人

人口: 340,565人

資料: 平成12年・平成22年・平成27年国勢調査 平成37年 日本の地域別将来推計人口 (平成30年推計)

(5)在宅医療に関する主な資源の状況

【出典：滋賀県提供 在宅医療データ集・近畿厚生局 H30.6時点】 Lake Biwa

種 別		機関数	
医療機関数	病院	総数	15
		(再掲)在宅療養支援病院	3
		(再掲)在宅療養後方支援病院	1
		(再掲)地域包括ケア病棟(床)開設病院	3
	診療所	総数	262
		(再掲)在宅療養支援診療所	56
		(再掲)在宅時医学総合管理料	81
訪問看護 ステーション	事業所数(医療保険に基づく指定のみの事業所1も含む)	30	
	サテライト	4	
歯科診療所	総数	132	
	(再掲)在宅療養支援歯科診療所	14	
薬局	総数	133	
	(再掲)在宅患者訪問薬剤管理指導料算定薬局	127	

(6)これまでの取組み

年度	主な取組み
H24	多職種協働推進のための滋賀県地域リーダー研修に各職種代表と参加
H25	大津市医療福祉ビジョンの策定 多職種連携協働事業開始 大津市医療福祉シンポジウム開催 (滋賀県在宅医療推進地域モデル事業補助金活用)
H26	都道府県医療介護連携調整実証事業(入退院支援ルールの策定・手引きの作成)
H27	在宅医療・介護連携推進事業開始 在宅医療連携拠点準備会議 大津市医師会との協働による多職種連携協働事業の運営(※) (滋賀県医師会地域在宅医療拠点整備事業補助(医療介護総合確保基金)活用 ~H29)
H28	大津市医療福祉フォーラム開催 訪問看護体制強化補助事業開始 看護職多分野連携研修会開始
H29	訪問看護体制強化検討会
H30	拠点訪問看護ステーションにおける在宅医療・介護連携支援事業開始(委託) 大津市医師会における大津市在宅医療連携拠点運営事業((※)を委託)

(7) 滋賀県との連携

① 滋賀が目指す在宅医療の推進



医療依存度が高くても、本人が望む場所で生活したいという希望や、在宅で最期を迎えたいという選択肢を実現するために、医療福祉サービスが総合的に受けられる地域を住民とともに目指す。

入退院から在宅療養との切れ目のない連携の促進

在宅療養生活を支援する医療資源の整備・充実とネットワーク活動の推進

本人が望む場所での日常療養から人生の最終段階ケア、看取りが可能な体制整備

在宅医療を担う人材育成とスキルアップの仕組みの構築

在宅療養を支援する拠点の整備

本人の暮らしを中心に据えた医療福祉の推進 * 地域における医療と介護の一体的推進

- 退院支援機能強化事業
- 地域連携クリティカルパスの推進
- 入退院支援ルール評価・検討

- 地域医療体制整備
- 在宅療養支援病院等整備
- 訪問看護支援センター運営
- 新卒訪問看護師定着支援
- 医療情報ICT化推進
- 地域医療支援事業
- 訪問看護ステーション開設準備補助

- 住みなれた地域での療養・看取り推進
- 介護職員看取り介護技術向上研修
- 滋賀の在宅療養を推進する県民参加促進

- 市町在宅医療介護連携推進セミナー、地域リーダーステップアップ
- 訪問看護師キャリアアップデザイン創造事業
- 訪問看護支援センター運営(再掲)
- 在宅医療サポート事業
- 地域包括ケア人材育成
- 新卒看護師定着支援
- 在宅医療人材確保・育成(在宅医療セミナー、在宅医療体験、家庭医療養成プログラム)

- 地域包括支援センター機能強化事業

- 在宅看護人材育成
- 生活機能向上支援
- 市町総合事業支援
- 自立支援・重度化防止

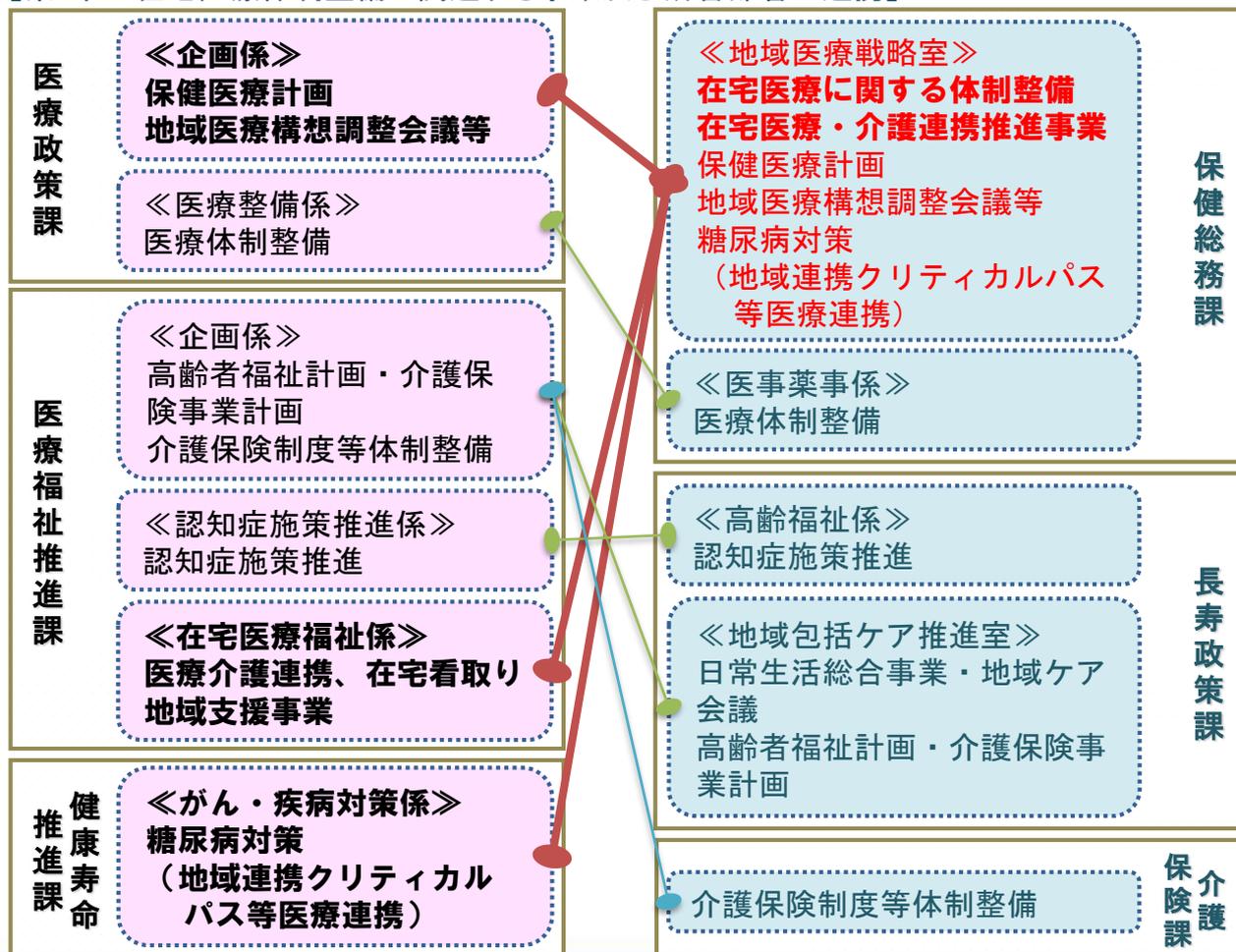
医療福祉アドバイザー派遣、地域支援事業等による市町支援

- 【推進体制】 在宅医療等推進協議会/医療福祉・在宅看取りの地域創造会議/圏域在宅医療推進事業
- 【指針】 滋賀県保健医療計画、滋賀県における在宅医療推進のための基本方針

(7)滋賀県との連携

②関係部署との連携体制及び連携方法

【県・市の在宅医療体制整備に関連する事業及び所管部署の連携】



- 【県との主な連携方法】**
- (保健所として)
1. 各分野における県保健所担当者会議・研修に参加
 2. 県庁担当者の大津圏域の会議及び事業への参加
 3. 国・県のモデル事業における県との密な協力
(H26年 都道府県医療介護連携実証事業など)
 4. 事業運営に関する県庁担当者からのサポート
 5. 県、保健所レベルで保有する各種データの県からの提供
 6. 「滋賀県保健医療計画」と整合性を図り「第3期大津市保健医療基本計画」を策定
(策定作業への県の参加・地域医療構想調整会議との連動)
- (市として)
- 県型保健所がないため、県庁担当者との直接的な連携

II 在宅療養支援体制の全体像

平成30年度 在宅療養推進のための連携検討の場
～「医療」から「介護・福祉」への連携のために～

保健総務課 主管
(地域医療戦略室)

長寿政策課 主管
(地域包括ケア推進室)

Cure

Care

Health

地域医療構想

大津圏域地域医療
構想調整会議 等
【主管:滋賀県】

医療・介護関係団体
(三師会・看護協会等)
全15病院
保険者(2団体)
大津市
(9団体15病院 25名)

(滋賀県健康医療課と
共同事務局)

在宅医療連携拠点整備のための検討

在宅医療連携拠点運営会議
【主管:大津市】

医療・介護関係団体(三師会・看護協会等)・全15病院
拠点訪問看護ステーション
(9団体15病院 + 拠点訪問看護ステーション(3) 28名)

診療所等における
在宅医療体制
の検討
【医師会在宅療
養推進部との
連携】

職種代表・包括代表者会議 (多職種連携協働地域リーダー)

医師 歯科医師 薬剤師 病院
訪問看護師 管理栄養士 歯科衛生士
セラピスト 介護支援専門員 地域包括

病院担当者会議(必要時)

訪問看護体制 強化検討会議

医師 薬剤師
訪問看護師
病院 看護協会
介護支援専門員
滋賀県

地域連携
クリティカルパス
推進会議

脳卒中

糖尿病

○ブロックリーダー講座
○多職種協働事業
活動報告会

滋賀県
在宅医療
セミナー

地域包括ケア 推進会議

地域包括ケアに関
して部局を超えた
関係課長による
会議

地域包括ケア部会

医療介護 連携部会

地域包括

病院地域連携担当

保健総務課

住宅部会

生活支援・介護予防部会

多職種連携ブロック企画会議

医師 歯科医師 薬剤師
病院 訪問看護師 その他 多数
介護支援専門員 地域包括(事務局)

○多職種連携 合同研修会

(対象)
医療・介護
関係職
○市民啓発講座

地域ケア会議

7ブロックにお
いて地域包括
支援センターが
開催

7ブロックごとに開催

病院とケアマネジャー等の入退院支援に関する情報交換会

病院 介護支援専門員 看護協会 訪問看護 地域包括

看護職多分野 連携研修

○入退院支援に関する病院担当者会議
○退院調整看護師情報交換会

(300401 版)

病院看護～ケアマネ／病院看護～訪問看護
連携に関する協議の場

地域の医療介護関係者のネットワーク作り
市民への在宅療養啓発活動

大津市の地域包括ケア協議の場

II 在宅療養支援体制の全体像 ～ライフサイクルを通じた支援～

乳幼児

学齢期

青年壮年期

高齢期

在宅医療連携拠点の整備

医療

医療体制の整備・医療資源の充実

在宅療養支援のための医療から介護・福祉への積極的な連携

福祉

障害・特定疾患等疾患年齢に応じた諸制度・サービス

介護保険制度・サービス

地域

地域の支えあい（自助・共助）・インフォーマルサービス

活動

子育て支援・教育

就労

生きがい・介護予防

住

住まい

地域包括ケア

すこやか相談所

あんしん長寿相談所
(地域包括支援センター)

子ども発達相談センター

保健所（保健総務課・健康推進課・保健予防課）

障害福祉課・保育関係課

長寿政策課・介護保険課

教育委員会

産業分野

住宅課

消防（救急）・警察

関わる行政機関

1. 在宅医療・介護連携推進事業の 取り組み状況

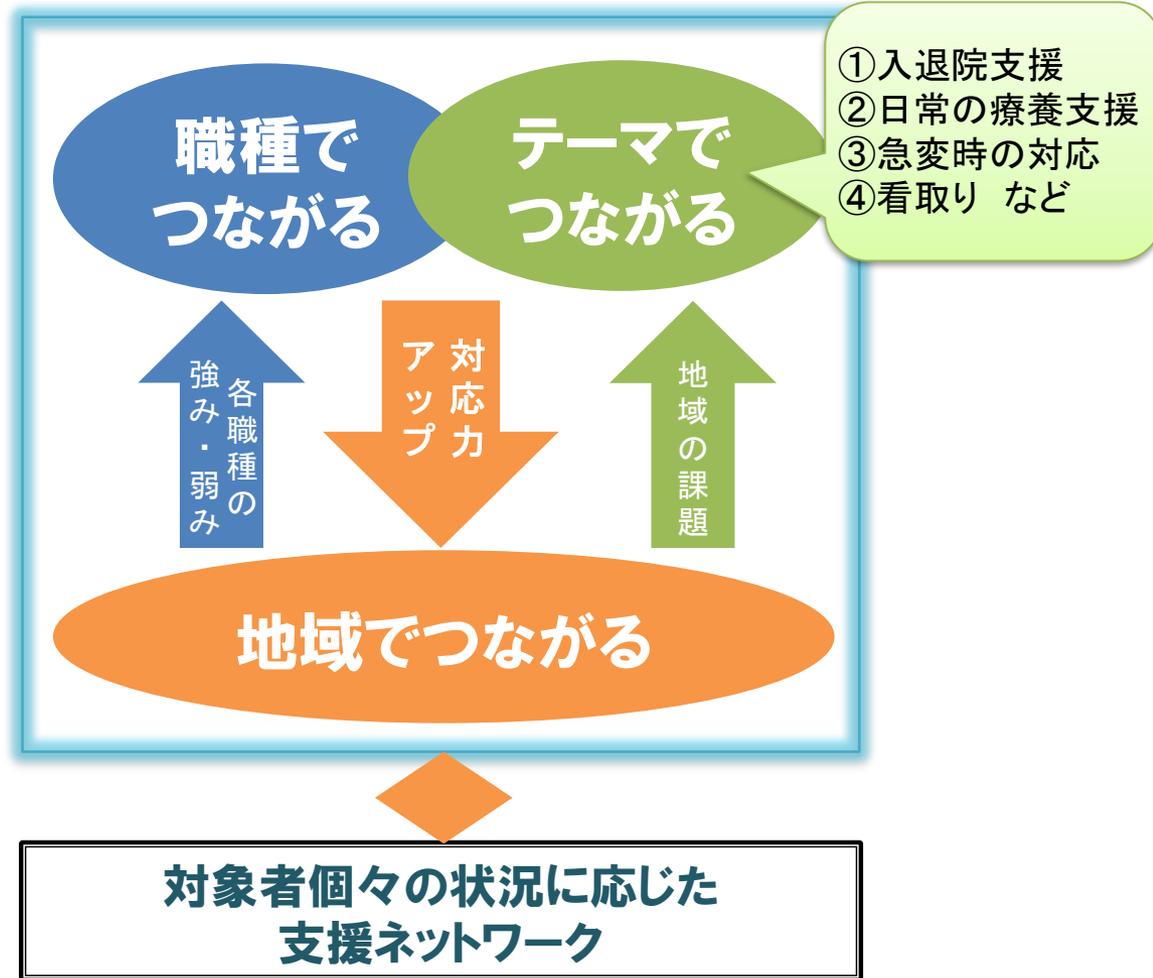
事業項目	大津市における該当事業
(ア)地域の医療・介護サービス資源の把握	(1)在宅医療関係情報整備
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	(2)医療福祉推進協議会 (3)在宅医療拠点運営会議 (4)多職種連携職種リーダー・包括担当者会議 (5)多職種連携地域リーダー講座 (6)7ブロック合同報告会 (7)訪問看護体制強化検討会 (8)地域医療構想調整会議等地域医療構想実現に向けた取り組み
(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	(9)訪問看護体制強化事業補助(一般会計) (10)診療所における在宅医療実施状況調査 (11)看護職の多分野連携に関する現状調査 (12)地域連携クリティカルパス推進会議(脳卒中・糖尿病) (13)入退院支援ルールの評価と運用促進 ア)入退院支援ルール評価アンケート イ)入退院支援の手引き更新(H30年度改訂) ウ)退院支援ルール検討会議(病院ケアマネ合同(2回)・病院関係者・退院調整担当看護師会議(適宜)) (再掲)(8)
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	(14)滋賀県在宅療養支援システム(あさがおネット)の活用促進 (再掲)(12)(13)
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	(15)拠点訪問看護ステーションにおける在宅医療・介護連携支援事業(3か所)
(カ)医療・介護関係者の研修	(16)多職種合同研修会(各ブロックで随時開催) (17)多職種による在宅療養啓発出前講座 (18)疾患別研修会 (19)看護職多分野連携研修会(1回)
(キ)地域住民への普及啓発	(20)在宅療養・看取りの市民啓発～大津在宅療養応援団～ (21)在宅療養啓発DVD (22)大津市医療福祉フォーラム(3年に1回程度 H25.28開催) (23)在宅療養啓発用パンフレット作成(市民用・関係者用)
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	※大津市は単独で二次医療圏であるため、本事業に該当する事業はないが、入退院支援ルールの検討等において隣接保健所や隣接市内の病院も含めるなど、圏域を超えた取り組みを行っている。

2. 取り組みの視点

(1) 地域でつながる

(2) 職種でつながる

(3) テーマでつながる



(1)地域でつながる

① 多職種連携協働事業

- a. 企画会議～おおつ在宅療養応援団～
- b. 多職種連携のための研修会
- c. 在宅療養・看取りの市民啓発講座
～おおつ在宅療養応援講座～

② 在宅医療連携拠点整備

(1)ー① 多職種連携協働事業

地域のリーダーが考えた【我がまちの在宅医療の姿】
(平成24年度滋賀県地域リーダー研修より)

みんなが“楽”で疲れない！



◆支援チームが顔の見える関係に！◆



◆ブロック別多職種連携活動につづく…◆

a. 企画会議～おおつ在宅療養応援団～

～一人で抱え込まない在宅療養支援のための多職種顔の見える関係作り～

多職種地域リーダー（大津市全体の多職種連携を取りまとめます）

医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・介護支援専門員・病院・
管理栄養士・リハビリセラピスト・歯科衛生士（事務局）保健総務課

各ブロックにおいて多職種連携のための各職種のリーダーが中心となって研修等を企画します。

（リーダー）ケアマネジャー
（サブリーダー）
医師・歯科医師・薬剤師
訪問看護師・病院・管理栄養
士・歯科衛生士・リハビリセ
ラピスト 等
（事務局）
あんしん長寿相談所

和邇

堅田

比叡

中

膳所

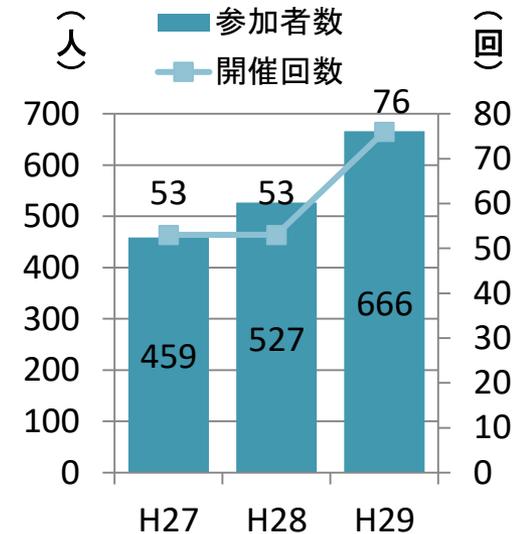
南

瀬田

保健総務課・長寿相談所

各ブロックにおいて多職種合同研修会・市民啓発活動の取組み

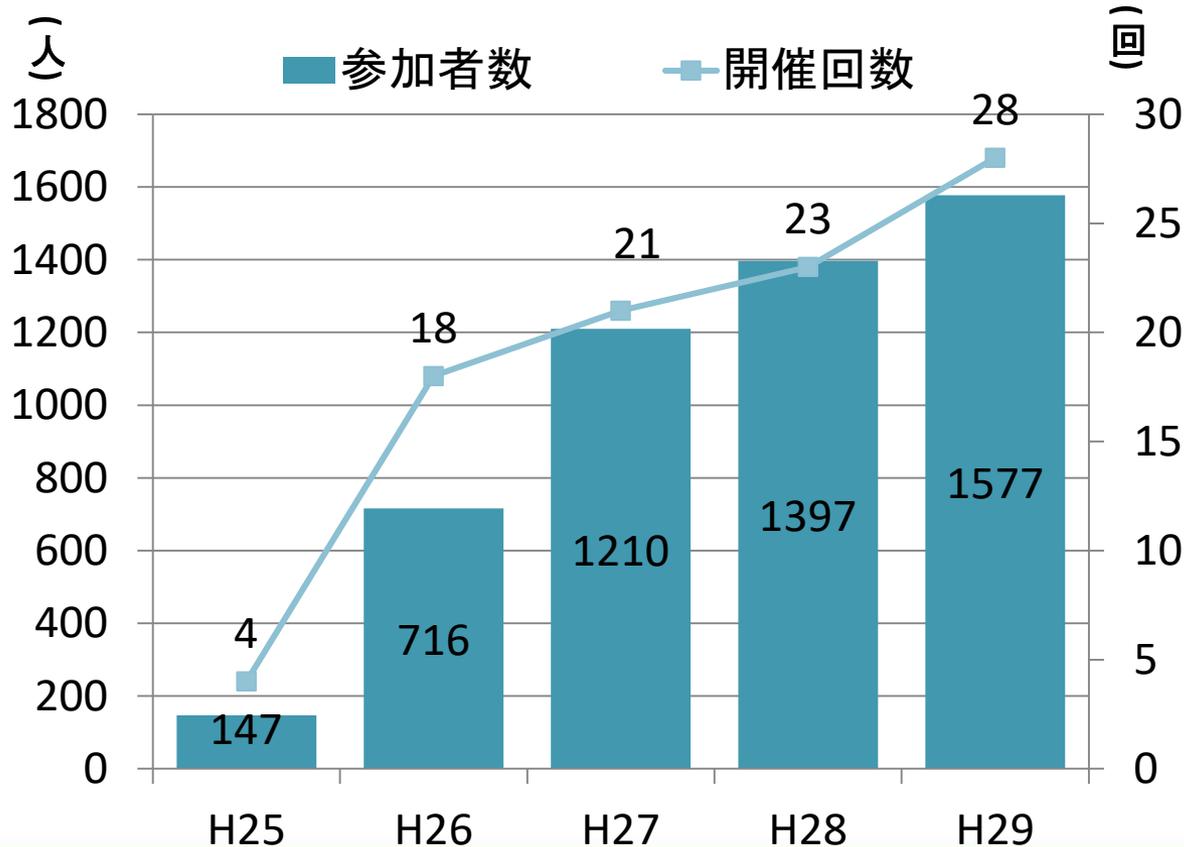
	回数	参加者数
H27	53	459
H28	53	527
H29	76	666



b. 多職種連携のための研修会

～「顔の見える関係」づくりから「手をつなげる関係」づくりへ～

多職種が事例検討などを通して、互いの役割や連携のあり方について情報交換し、顔の見える関係づくりに取り組む研修会。平成26年度から7ブロック単位で活動。



【参加職種】医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、病院(医師・看護師・地域連携等)、ケアマネ、あんしん長寿相談所、その他

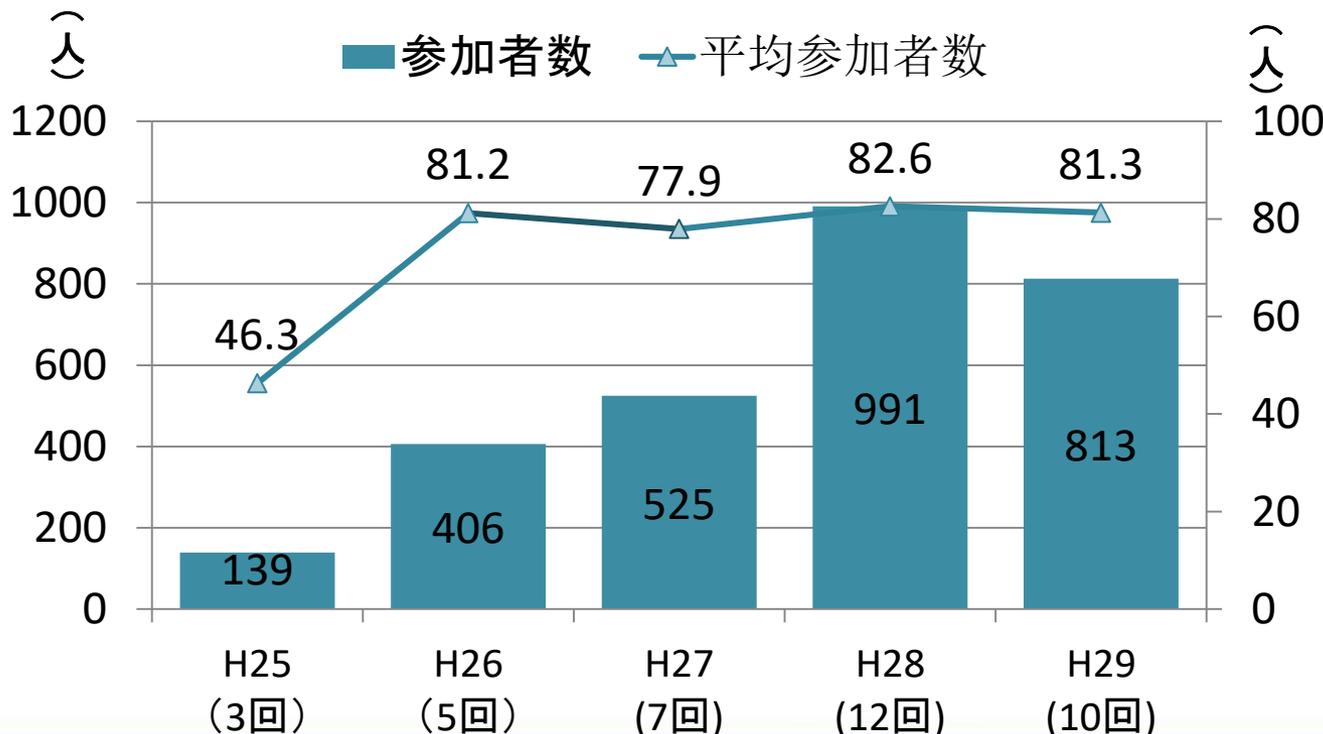
C. 在宅療養・看取りの市民啓発講座 ～おおつ在宅療養応援講座～

- 在宅療養・在宅看取りを経験されたご家族や支援者によるシンポジウムの開催、在宅療養を支える支援者や各種サービスをわかりやすく寸劇形式で紹介するなど在宅療養について理解を深める取組みを実施。
- 平成26年度より、学区社協の方と企画段階から一緒に計画し実施している地域もあり、市民の方と共に考える取組みを進めている。

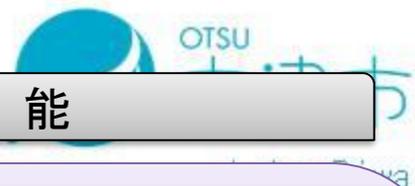
歯科医師による
在宅歯科診療機器の紹介



医療介護関係者による寸劇

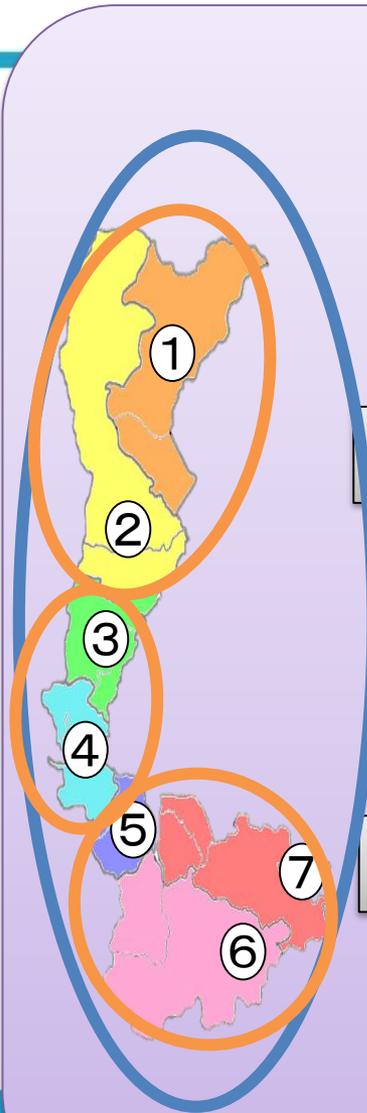


(1)-② 在宅医療連携拠点整備



体制

機能



1つの拠点

明日都(保健所・三師会)
【対象地域】
大津市全域

全体総括・拠点事業の方針決定・情報収集発信

- 大津市全体の在宅医療連携拠点の総括
- 在宅医療推進のための情報集約および発信
- 医療体制整備に関する検討
- 在宅医療関係者向け研修会の企画実施

3つの拠点

訪問看護ステーション (3箇所)
【対象地域】北部・中部・南部

医療介護連携・相談の中核(特に医療関係者)

- 強化型訪問看護ステーション等大規模多機能ステーション
- 主に専門職、関係機関からの相談対応(来所・電話)(市民対応も可能)
- 担当エリアの医療・介護連携推進
- 訪問看護ステーションのネットワーク構築

7つの拠点

あんしん長寿相談所(地域包括支援センター)
すこやか相談所
【対象地域】
福祉保健ブロック(7ブロック)

市民相談・啓発の中核 医療介護連携・相談の中核(特に介護関係者)

- 多職種連携の推進
- 市民啓発
- 市民、関係機関からの相談対応(来所・電話・訪問)

連携して実施

連携して実施

拠点訪問看護ステーションにおける 在宅医療連携拠点機能

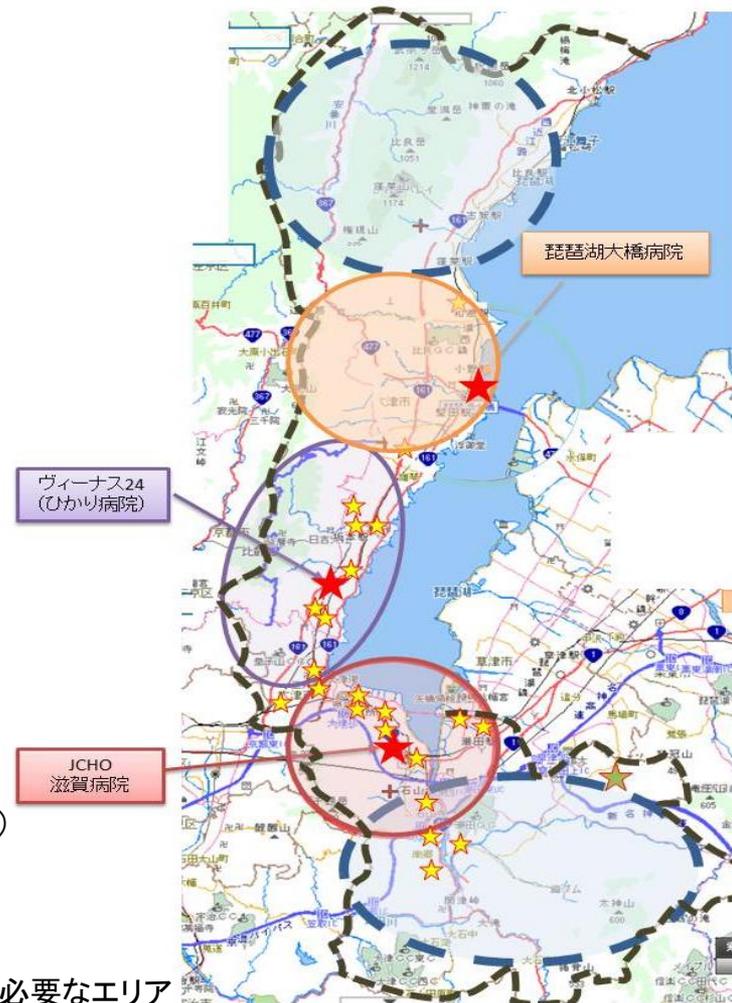


大規模化（機能強化型訪問看護ステーション）による訪問看護サービス提供量の増加と安定化

多職種との連携による適切なサービス提供とニーズの掘り起し

【訪問看護ステーションの配置と機能】(平成30年6月1日現在)

- ★ … 訪問看護ステーション(拠点・機能強化型(予定))
- ★ … 訪問看護ステーション(通常規模)
- ★ … 訪問看護ステーション(サテライト型)
- … 今後サテライト型訪問看護ステーション等の設置が必要なエリア



(2)職種でつながる ～看護職多分野連携の推進～

【実施主体】

大津市・大津市医師会（協力） 滋賀県病院協会・滋賀県看護協会地区支部

【テーマ】

「最期まで住み慣れた場所で暮らしたい！」を支えるための多分野における看護職の役割を考える



【第1回】平成29年1月26日(木)

○講演:「最期まで住み慣れた場所で暮らしたい！」を支えるための多分野における看護職の役割を考える

講師: 櫃本 真幸氏(四国医療産業研究所 所長)

○情報交換会(看護職のみ)

【第2回】平成30年1月11日(木)

○講演

(1) 多分野における看護職の役割と連携のあり方について

講師: 新潟市医師会在宅医療推進室・新潟市在宅医療・介護連携センター
保健師・地域看護専門看護師 細道 奈穂子氏

(2) 「くらしを支える在宅医療を推進する取組の『見える化』事業事例」から見える看護職の姿

講師: 東京大学医学部在宅医療学拠点特任研究員 松本 佳子氏

○情報交換会(看護職のみ)

【第2回参加状況】

所属機関	人数
診療所	21
病院	29
小規模多機能居宅介護事業所	2
居宅介護支援事業所	8
有料老人ホーム	2
訪問入浴事業所	1
訪問看護ステーション	6
通所介護事業所	21
行政関係	5
その他	1
総計	96
(再掲)看護職以外の参加者 病院幹部・診療所医師・事業所管理者	9

(3) テーマでつながる ～入退院支援連携～

- 入退院支援ルール及び『大津保健医療圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援の手引き』運用(H30改訂)
(平成26年度 都道府県医療介護連携調整実証事業)
- 入退院支援に関する情報交換会(2回/年)
(対象)病院関係者・介護支援専門員・訪問看護師
- 入退院支援に関する連携状況調査(1回/年)
(対象)病院関係者・介護支援専門員
- 病院関係者・退院調整担当看護師会議

病院とケアマネジャーによる 入退院支援ルールへの運用

入院から退院までの間、病院とケアマネジャーが連携するための“共通ルール”を作り、連携もれゼロを目指していく事業。



【退院にむけての準備】

ご本人ご家族の思いをきき、安心して自宅での療養に移行できるよう、福祉用具や住宅改修の手配、訪問診療や訪問看護の調整、ヘルパーやデイサービスの調整など、在宅療養に必要なサービスを調整。

病院



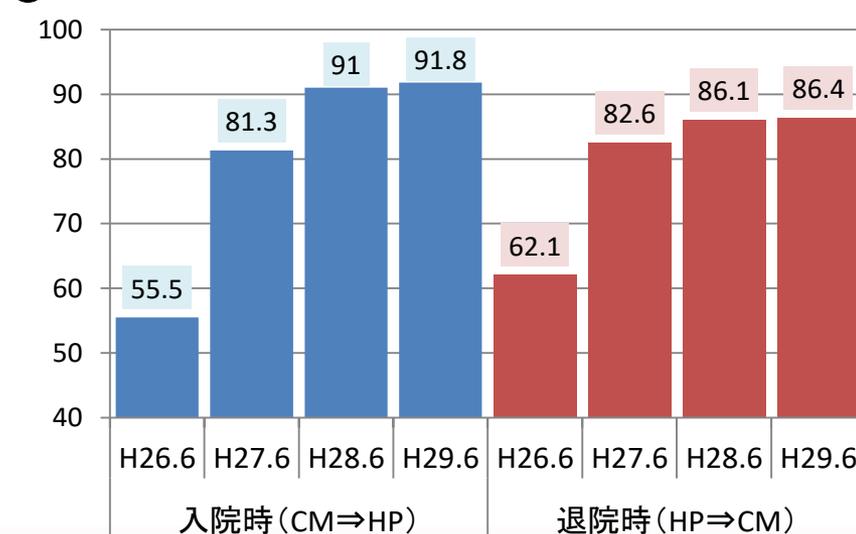
自宅

【入院時】

在宅での状況や、利用していたサービス等を伝え、入院中や退院時の連携をスムーズに。



【入退院時情報共有の状況(要介護利用者)】



3. 在宅医療推進のための主な事業スケジュール

★ 会議 ☆ 研修会

事業	H29	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
多職種連携協働事業			多職種代表者・あんしん 長寿担当者会議① ★					多職種代表者・あんしん 長寿担当者会議② ★		多職種連携協働事業 7ブロック合同報告会 ★			★
「企画会議」「多職種のための研修会」「在宅療養看取りの市民啓発講座」を各ブロックで展開													
看護職多分野連携	★			☆	☆	☆				☆			★
	看護協会地区支部との企画会議			テーマ別研修会・情報交換会(看護協会地区支部との共催)									看護協会地区支部との企画会議
拠点訪問看護STによる 病院看護部長訪問													
入退院支援連携							★	☆		★		☆	
				病院担当者会議①				病院とケアマネ・ 訪看の情報交換会①		病院担当者会議②		病院とケアマネ・ 訪看の情報交換会②	
ケアマネ対象 連携状況調査													
入退院支援の手引き改訂													
訪問看護体制強化				★				★				★	★
				訪問看護ST 意見交換会①				訪問看護体制 強化検討会①				訪問看護ST 意見交換会②	訪問看護体制 強化検討会②
拠点訪問看護ステーションによる訪問看護ステーションネットワークの構築													
その他全体に関ること				★				★	★				
				大津市医療福祉 推進協議会①				大津市医療福祉 推進協議会②		在宅医療連携 拠点運営会議			
第3期大津市保健医療計画(H31~36)策定													
大津区域地域医療構想調整会議他関連協議【滋賀県と共同事務局】													

4. 在宅医療体制強化に向けた今後の課題

1. 多職種間、同職種内（特に医師、看護師）連携強化
2. 在宅、施設における看取り体制強化
3. 市民啓発の充実と市民協働による取組みの推進
4. 病床機能の分化・連携の推進

「みんなが“楽”で
疲れない！」の
実現

これらを、多職種・市民で協働し、着実に進めていくために・・・

SPO指標を活用した在宅医療体制強化方針の明確化

（第3期大津市保健医療基本計画策定）